

# Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA AIRPORT since 29 July,1974



2022-2023 年度 RI テーマ : IMAGINE ROTARY

ガバナー方針 : 「未来を描こう、笑顔でつながろう」～

一人一人のチャレンジを力に！変化に対応できるクラブを目指して～

クラブ方針 : 「クラブがワンチームになって絆を深め、

ロータリー活動をより楽しく！」



## 名古屋空港ロータリークラブ

事務局/ 名古屋市中村区名駅 3-11-13

レジデンス鈴木 1101

[TEL] 052-446-6811 [FAX] 052-446-6812

E-Mail: rongoapt@mta.biglobe.ne.jp

会長/ 山内 佳紀

幹事/ 入谷 宏典

公共イメージ向上委員長/ 稲熊 正徳

例会日/毎週月曜日 12:30～13:30

例会場/名古屋マリオットアソシアホテル

## 第2131回 例会

2023年5月29日(月) 第33回

- 司会 SAA 早川 正倫 君
- 点鐘 会長 金井 和治 君
- 斉唱 ロータリーソング「我らの生業」
- 例会行事 全員協議会「ロータリー会費の見直しについて」、会員卓話  
副会長 挨拶

名古屋空港ロータリークラブ副会長 金井 和治 君



皆さん。こんにちは。

本日の例会は、山内会長が「イマジン メルボルン国際大会」に出席のため、副会長の金井が代理としてご挨拶をいたします。

RIの大会開催文章は、「毎年行われるロータリー国際大会は、友情と学びが融合し、参加者にインスピレーションを与えます。ロータリーに入会したばかりの会員からベテラン会員まで、メルボルン国際大会では、イマジネーションをかき立て、一生の思い出となる経験が待っています」とうたっています。

当クラブからは、山内会長を始め、真城国際奉仕委員長、安川国際奉仕副委員長、川口会員増強委員長、松井会員、菅沼会員、大河会員の計7名が参加しています。

帰国後に大会の報告を楽しみにしています。

振り返れば当クラブの国際大会への初参加は 23 年前の 2000 年 6 月に開催されたアルゼン・ブイノスアイレスの出席でした。

名古屋空港～成田空港～ロサンゼルス空港経由の予定で出発しましたが経由空港ロサンゼルスで機材故障のため急遽米国に入国し、翌日シカゴ経由になりました。

名古屋から 48 時間以上を経過してブイノスアイレス国際空港に到着しましたが、大会はすでに閉会していて残念ながら出席できませんでした。

何ということとでしょう。最初の国際大会出席としては悲しい出来事でした。

その後、ブラジル・サンパウロ、リオ・デ・ジャネイロやイグアスの滝を観光して帰国しました。

帰りの飛行機ではウルグアイのサッカーナショナルチームと一緒に 20 時間以上過ごしたことが嬉しく楽しい記憶に残っています。

今回、7 名の参加者が楽しい思い出と学びを得て無事に帰国することを祈っています。

また、本日会長が不在ですが「会費見直しについて」全員協議会を開催します。

屈託のないご意見をいただきますようお願いいたします。

その後、近藤会員の卓話があります。楽しみにしています。

以上で会長代理の挨拶といたします。

ありがとうございました。

## 委員会報告

- 出席報告 (田中 秀典 君)

### 本日の例会

会員数	49		出席率	69.23	%
出席者	出席義務者	14	欠席者	出席義務者	13
	出席免除者	13		出席免除者	10
	出席合計	27		欠席合計	23

- ニコニコボックス報告 (大河 裕之 君)

山内会長、国際大会参加の為、不在ですが宜しくお願いします。 入谷 宏典 君

会員協議会宜しくお願い致します。

阿萬 裕子 君

近藤さん、卓話楽しみです。 市川 孝 君

近藤さん、卓話楽しみです。 稲吉 将秀 君

近藤君の卓話楽しみにしております。  
今年度最後のゴルフ部会優勝しました。  
次年度も頑張ります。 内海 辰巳 君

全員協議会を宜しくお願いします。  
近藤会員の卓話を楽しみにしております。 金井 和治 君

近藤君の卓話を楽しみにしています。 串田 正克 君

今日卓話します。よろしくお願ひします。 近藤 和彦 君

近藤君の卓話、たのしみにしています。 田中 秀典 君

近藤君、卓話たのしみにしています。 原田 好展 君

近藤さん、アクアリウムのお話、楽しみにしています。  
安江 寛二 君

石川 良治 君	伊藤 康司 君	市川 孝 君
内海 辰巳 君	大河 裕之 君	大野 和宏 君
國田武二郎 君	栗田 和典 君	暮沼勇二郎 君
鈴木 恵一 君	武田 英昭 君	照井 通夫 君
中林 正人 君		

本日の協力	22 名	36,000 円
本年度の協力累計		1,666,000 円

ご協力ありがとうございました。

## ～全員協議会～

“会長代理挨拶”で  
申しあげましたが、本日は  
山内会長が不在にもかかわらず、  
全委任を受けまして「全員  
協議会」開催を私と入谷幹事が  
執り行います。  
後ほど入谷幹事から詳しく提  
案していただきます。  
今年度12月までの中間決算を  
2月6日の「第8回理事役員  
会」で報告され、次年度の不足  
金が懸念されました。



次年度の予算に支障をきたすことを回避したいと「会費の  
見直し」が協議案件になりました。  
最初の協議事案を4月3日の「第10回理事役員会」に提  
案されました。  
今までに5月8日の「第11回理事役員会」で審議され、  
5月15日の「現次合同第4回クラブ協議会」、18日の  
「バスト会長会」においてご意見をいただきました。



喫緊の課題として本日  
の全員協議会で皆さんの  
意見をいただき、最終  
の理事役員会で決定  
し、次年度の会費納入  
から実施したいと思います。  
宜しくお願いいた  
します。



## ～会員卓話～

演題「水槽置いてみませんか

～アクアリウムへの誘い～」

近藤 和彦 君



これは私の会社に置いてある水槽の写真ですが、  
今日は観賞魚の楽しみ方のいくつかをご紹介しますと  
思います。



まずは観賞価値を高めることを目的に飼育する例をご紹介します、これは観賞魚の代表格「錦鯉」です。

日本産の観賞魚の場合、上から見ることを前提に、その体形や配色の美しさを追求します。

金魚では「土佐金」と呼ばれる尾ビレに独特の形状を持った種では、その体形や配色に加え、そのヒレの形状も鑑賞の対象とされ、如何に傷つけることなく美しく育て上げるかを追求します。



また いわゆる熱帯魚ですと、一時ブームになって大変な高額で取引されていた「アジアアロアナ」ではその体色に



いかに美しく赤色を載せていくかなどが求められています。健康な状態で飼育を続けることにより、その魚本来の美しい体色を発色させることもでき、

例えばこの「ミクロラスボラハナビ」では買ってきたときの体色が、より鮮やかに変化します。



主に海水魚に多いですが、体色が幼魚と成魚で大きく変化する種もいます。沖縄近海にもいる「サザナミヤッコ」では幼魚と成魚ではこのように変化します。



サザナミヤッコ 幼魚



サザナミヤッコ 成魚

同じく「タテジマキンチャクダイ」では、幼魚では渦巻き模様であったのが成魚では頭から尾に向かう縦縞となり、徐々に渦巻きが薄れ縦縞が現れることから過渡期では両方の模様が重なって現れます。この幼魚から成魚への体色の变化は家庭に設置した水槽でも数か月間で見ることができます。

所謂、怪魚と呼ばれる魚たちがいてその生態や形状が独特で、飼う事自体をコレクションの様にする楽しみ方もあります。こちらの「肺魚」は自然界において乾季では水が無

くなってしまう場所に生息していますが、水底の泥に潜り込み浮袋が肺のような役割をして水が戻る雨季まで過ごします。



「レインボースネークヘッド」はそのまま蛇の頭のような魚体と虹色の体色を持っていて独特の雰囲気を持つ魚です。



また、いくつかの種類の魚たちは所謂「懐く」ようなしぐさをすることからペットフィッシュと呼ばれる者たちや、とにかく体色がきれいなことから好んで飼育される、文字通りの観賞魚もたくさんいます。

さて、魚を飼育していくと、気が付くと稚魚が泳いでいたりすることもあるのですが、繁殖させることを目的に飼育し品種改良的な楽しみ方もあります。

皆さんにも馴染みのある「グッピー」などは盛んに品種の作出が行われており、日本は世界的にも盛んな国とされており、観賞魚の専門店では東南アジアで養殖された輸入グッピーと、日本でブリードされ作出された国産グッピーとは明確に区別されて販売されています。

一方「ベタ」は野生種の産地タイなどの東南アジアでも盛んにブリードされ、「ショーベタ (show ベタ)」と呼ばれるショー (品評会) の為に作り出された品種も数多くあります。近年日本ではメダカの品種改良も盛んにおこなわれるようになり、やはり日本の魚ですので上から見てメタリックに輝く魚体ですとか、赤く色づき極小の錦鯉のようなメダカも作出されております。



魚だけにとどまらず、ほぼメダカと同じようなサイズの「ビュシュリンブ」などの小型淡水エビも品種作出が行われて



おります。観賞魚を繁殖させられるようになりますと、繁殖期に独特の体色に染まるのを見ることができます。「婚姻色」と呼ばれるものですが、体色が一層鮮やかになったり一層濃くなったりします。

日本中の河川に広く分布している「オイカワ」は夏の繁殖期になると

鮮やかなメタリックボディを身にまとい、独特の体色は一層深みを増します。「チェリーバブル」は名前の通り正に真っ赤に色付いた鯉（コイ科の魚の一部を学名でバブルと呼びます）になります。



魚の中にも子育てをする魚たちがいます。こちらは南米原産の「ディスカス」です。彼らは石の壁面などに産卵し、



ペアでヒシを使って新鮮な水を卵に当ててケアし、孵化してからは稚魚が自力で摂餌できるまで、自身の体表に粘液を出してそれをついばませることで育てます。決して哺乳類ではないですがその粘液はディスカスマルクと呼ばれています。メスが産卵した卵を雄が口で受け止めて

孵化するまで絶食して卵を守る魚もいます。マウスブリーダーと言われる魚たちで、孵化後も危険を感じると稚魚たちは雄の口の中に逃げ込んだりします。メスが産卵した卵を自ら啜ってマウスブリードする種もいて、雌雄の役割分担は魚種によるようです。

ここまで魚の飼育を中心にご紹介してきましたが、水槽内にレイアウトして水景と言ったりしますが景色を楽しむアクアリウムもあります。

淡水ですと水草を中心としたレイアウト、海水ですとサンゴを中心としたレイアウトをすることで、自然の一部を切り取ったようなレイアウトや、まるで花壇の様に造形を楽しむような水景を作ったりします。淡水の場合ですと水中造園や水中盆栽などと例えることができるかもしれませんが、びっしり水草を植え込むことで花壇のような水景を作り出すのをダッチアクアリウムと言います。

ダッチ、すなわちオランダですが、オランダでは園芸が大変盛んだそうで雪に閉ざされる冬場でも園芸を楽しみたいと、水槽を花壇代わりにした水中園芸、ダッチアクアリウムが盛んになったそうです。



一方の自然の一部を切り取ったような水景を楽しむのをネイチャーアクアリウムと言いますが、



こちらの盛んな国は何を隠そう日本でして、隙間なくみっちり植え込むダッチに対してどこかに隙間を作って日本伝統の余白の美を求めると言うか、水中箱庭、水中盆栽と言った水景が多いと思います。オランダだ、日本だと言っておりますが世界中に愛好家はいて、世界水草レイアウトコンテストも開催されていましてこれはここ数年の優秀作品です。



～2021年「風に語りて」徳佐江里さん作～

ネイチャーアクアリウムのアレンジとして水深をぐっと浅くして陸地部分を作ったレイアウトを、水＝アクア、陸地＝テラからアクアテラリウムと言って、水中から湿地帯に生息する植物を楽しむことができます。世界水草レイアウトコンテストではアクアテラ部門も有り、深山幽谷を表現したりジャングルの湿地帯を切り取ったりなかなか見ごたえのあるレイアウトも多数あります。あれこれとご紹介してきましたが、最後に手軽に始められる小さなアクアリウム、ボトルアクアリウムをご紹介したいと思います。



大きな牛乳瓶のような容器や両手に収まるような球形のガラス容器、透明度の高いガラス製花瓶やガラス瓶などを水槽に見立てて小さな水景を楽しみます。勿論専用の容器も市販されていますのでそれを利用すれば一層手軽に始められ、何といても水替えや掃除の手間が小さいだけにとっても楽だ

という利点があります。ただし、小さいだけに変化に対するキャパシティが小さく、メンテナンスをさぼるとあっという間に崩壊してしまうのが難点と言えば難点でしょうか。もし、アクアリウムを始めてみようかなと思われた方がありましたら私まで仰ってください。

もっと詳しくお話しします。

